

だより 便利堂 京都

KYOTO
BENRIDO
DAYORI

2025 VOL.22
11/12
秋冬号

アートのある暮らしで彩りを

便利堂ものづくりインタビュー

集英社マンガアートヘリテージ

岡本正史さん◎ MANGA をアートとして後世に遺す



【特集】

新商品&季節のおすすめ商品

年末年始のイチオン◎年賀はがき / 金沢文庫本万葉集コロタイプ複製

日本文化の美とともに
歩み続けて139年



アートのある暮らし

●わたしだけの絵はがきカレンダー



日々の生活に美術を取り入れることは暮らしに彩りを与えてくれます。便利堂では、古典の名作から現代の作品までさまざまな美術作品をモチーフとしたアイテムを取り揃えています。毎号その中から、おすすめをピックアップして美術商品と暮らす日常風景をご紹介します。

写真・山内素誠(便利堂写真工房)

今年もう終わりが近づいてきましたね。みなさまはどんな1年を過ごされたのでしょうか。忙しく、あれよあれよという間に過ぎ去った方もいれば、ひとつの出来事が長く心に残った方もいるでしょう。月日は数えることができるけれど、そこにはただの数字以上の、あなただけの時間の流れが詰まっています。

日本の旧暦では「和風月名」という、月ごとにそれぞれの風物や行事に由来した呼び名がありました。例えば7月は、七夕に手紙を書くことから「文月」。なんだかロマンチックですよ。また、12月は「師走」。年末の法要に僧侶(師)が走り回る様子が表されています。言葉の中に、冬の冷たい風と慌ただしい足音まで聞こえてくるようです。

先日もうっかりカレンダーをめくり



〈わたしだけの絵はがきカレンダー 2026〉
¥300

カレンダーが簡単に「わたしだけ」にカスタマイズできます。お気に入りの写真やポストカードを飾ったり、付属されている絵はがきサイズの白い紙に好きな絵を描いたり、使い方は自由自在!



忘れて、甥っ子に指摘されてしまいました。私が京都に移り住む前、北の土地に暮らしていた頃には、小さな雪虫を甥っ子が見つけて、ああもう秋も終わりなのね、と気付かされたこともありました。旧暦を生きた人々のように、幼い子どものように、季節に敏感に、感受性豊かに、過ごしたいものです。

〈わたしだけの絵はがきカレンダー〉は、自由に描ける絵はがきサイズの白紙が12枚入り。思い出をスケッチしたり、言葉をつづつたり、誰かから届いた絵はがきを差し込んでみたり。便利堂の絵はがきも約8枚入るので、〈美術館はがきソムリエからの定期便〉とともに楽しんでいただくのもオススメです。予定を書き込むだけのカレンダーから、あなただけの暦を彩るためのカレンダーへ。来年もみなみなさまにとって、素敵な一年となりますように。

本誌に記載された表示価格は、すべて税込です。

折々の絵はがき

《掛下帯 紅天鷲絨地小犬寒菊水仙模様》
江戸時代 東京国立博物館蔵

「天鷲絨」と書いて「ピロード」と読みます。そっと咬くとそれはいかにも冬の音という感じで耳に届き、肌を切る冷たい空気や白い息、歩きたびかさこそ音を立てる落ち葉がすぐさま思い浮かびました。と同時に手にはピロードを撫でたときの肌に吸い付くような手触りがありありと甦ります。そういえばあのなめらかさが不思議で、子どもの頃には生地のおかげで何度も手を往復させましたっけ。



表紙の絵はがき:
絵はがき〈紅地狗児草花模様帯〉 ¥110



そんな冬の帯に刺した刺繍は見事で、思わず息のみました。所どころ残る雪もなんのその、仔犬たちは一時もじっとしてはられないように駆け回っています。水仙は葉を揺らし、寒菊は花びらをひらひら動かして、まるで彼らと一緒に笑っているみたい。あまりに幸福な光景だからでしょうか。眺めているだけで胸の内が温かなもので満たされていくようです。

ピロードはその光沢が「天鷲」、いわゆる白鳥に例えられ、中国や日本で珍重されました。江戸時代後期には町方の女性の間でピロードに刺繍した帯が流行したそうです。こんな光景なら帯の中へとどめておきたい。人の手から生まれる安らかな景色は、身に着けた人へ微笑みをもたらしたに違いありません。

京都 便利堂 だより

2025 VOL.22
11/12
秋冬号

CONTENTS

アートのある暮らし	02
便利堂ものづくりインタビュー 集英社マンガアートヘリテージ	04
季節のごあいさつ	10
美術はがきソムリエからの定期便	11
【特集】新商品&季節のおすすめ商品 年賀はがき/金沢文庫本万葉集複製他	12
Information	20

2025年 11月1日発行 (寄数月発行)
企画・制作・発行 株式会社便利堂
Director 鈴木 巧
Chief Staff 西川 愛
Staff 増尾麻黄 / 波邊 葵 / 小川朝永

※本誌記載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。

「マンガを、受け継がれていくべきアートに。」

2021年にスタート。最良の技術とマテリアルで、これまで見られることがなかった色彩や細部を表現し、アートとしてのマンガを限られたエディションで制作・販売することで後世に受け継がれる作品とするプロジェクト。それぞれの技術やマテリアルによって、現在8つのレーベルで展開している。



—— 岡本さんが携わられているマンガの原画をアート作品として販売し後世へと受け継ぐプロジェクト「集英社

—— 岡本さんが携わられているマンガの原画をアート作品として販売し後世へと受け継ぐプロジェクト「集英社

©Eiichiro Oda / Shueisha Inc.



原画の吹き出し部分には、セリフが写植(文字の出力)で一つひとつ貼り込まれている

岡本正史さん

集英社デジタル事業部次長。東京藝術大学美術学部卒業。女性誌、女性誌ポータルサイトを経て、「Comics Digital Archives」を企画・実現。「週刊少年ジャンプ」等のマンガ誌の制作環境のデジタル化を行う。デジタル事業部に異動後「Manga Factory」「SSDB(集英社総合データベース)」などを立ち上げ、2021年からは「SHUEISHA MANGA-ART HERITAGE」プロデューサーとして国内外にマンガアートを発信している

【The Millennium】

久保 帯人

BLEACH / 月牙鎖身図

2023, 860mm x 612mm, editions 20

※軸装仕立てはオプション



—— その頃から岡本さんのそばにはマンガがあったんですね。岡本さんの大切な1冊というと？

これは僕の宝物でした。鉛筆で下書きをしてペン入れをし、消しゴムをかけたときに黒の線が白い空間のなかへ浮き上がってくるように思える心地よさがあって、松本零士、赤塚不二夫、鳥山明などの絵を一生懸命模写しましたね。

マンガアートヘリテージ」はどのような経緯で立ち上げられたのですか。

「価値があると分かった時には、失われてしまっているものが多い」という気がつきがきっかけの一つになりました。僕はもともと印刷製版発注などをする制作部にいましたが、2000年代に制作工程がアナログからデジタルに切り替わるタイミングが訪れたんです。マンガの製作って非常にアナログで、写植で文字を出力してそれを原画に貼り、製版フィルムを作って刷版を焼く…みたいな感じだったんですね。僕はデジタルに明るかったこともあり、会社からその担当を命じられました。製版会社や印刷会社とやりとりして写植からDTPフォントへの切り替えやその見本帳を作ったりした、それが集英社で僕がマンガと関わった最初の仕事です。

—— マンガ製作を間近でご覧になってみて、いかがでしたか？

そのタイミングで、それまで原画の複写フィルムで運用していたマンガに關するあれこれを、高精細でスキャンしてデータとしてアーカイブしていくことになりました。色んなマンガをデータ化するなかで思ったのは、やっぱり素晴らしい描かれているものが非常に多いなということです。ただ、マンガって原画から掲載誌に至るなかでサ

©Tite Kubo / Shueisha Inc.



【第22回】

集英社マンガアートヘリテージ

◎岡本正史さん

企画・デザインから制作まで、妥協のない姿勢で取り組んでいる便利堂のものづくりの裏側を、作り手の声でご紹介していきます。

今回は、「週刊少年ジャンプ」など人気のマンガ雑誌を数多く抱える集英社の新たな取り組み「集英社マンガアートヘリテージ」のプロデューサー岡本正史さんにマンガアートへの思いや便利堂とのものづくりについてお話を伺いました。

聞き手…社長室 前田千穂

集英社マンガアートヘリテージ

2023年、東京・麻布台ヒルズガーデンプラザAにオープン。マンガアートを世界に伝える常設ギャラリー。「展示スペース」と「ワークショップスペース(事前予約制)」を併設。3畳の茶室「阿庵」では、掛軸作品などのユニークな展示を行っています。



—— 岡本さんとマンガの出会いについてお聞かせください。

僕が小学校の頃にはまだ携帯電話もインターネットも衛星放送もありませんでした。その頃は福井県の若狭で過ごしていたのですが、近所に書店も映画館もレコード屋もなく、民放も2局しか入りません。その場所でマンガが占める割合は相当に大きかったと思います。

—— ご自分でも描かれましたか？

そうですね。当時、東京でデザインIをしていた叔父が「マンガ家セット」を送ってくれたんです。ペン先やペン軸、羽ぼうきや定規、ケント紙などがセットになっているもので、長い間そ

イズがどんどん小さくなっていくんですね。扉絵のようなカラーの場合、原画はA3とかB4、少女マンガだともっと大きなサイズに描かれることも多くて、ものによってはラインストーンが貼られていたり、とにかくめっちゃくちゃ気合を入れて描かれているんです。例えばお正月の特大号ではいろんな先生のマンガがコラーージュされているじゃないですか。その中では一つのマンガの大きさが小さいものだと切手大くらいになってしまふ。でもそういう絵でも原画を見ると服のレースとかまですごく丁寧に描かれていたりするんですよ！



【The Scroll】
尾田 栄一郎
ONE PIECE / The Scroll 巻
2024, 680mm × 468mm × 3, editions 55
※額装仕立てはオプション



「ここではとんでもないことが
行われているんじゃないか…?」と思いました。

すから、いかにすごい作品であれ次第に目が慣れてしまうこともあるかもしれない。でも僕のように知らない状態を外から見ると「ここではとんでもないことが行われているんじゃないか…?」と思いました。

——他にもありそうですね。

あとは色、ですかね。マンガの着色は今や9割以上がデジタルではないかと思えます。しかし戦後から1970年代は伝統的な絵の具やボスターカラーが使われていて、実はその頃の絵はそこまで劣化していません。ところが80年代くらいから使われるようになって染料系のマーカーはすごく劣化しやすいんです。僕が関わり始めた十数年前には「みんなが知っている超有名なマンガのあの色は失われて今はもうない…」みたいなことになっていました。そこで変色した作品を高精度でスキャンして、画集や当時複写したフィルムを元に色を復元したんです。その時「こんなことなら最初からきちんとデータを残してデジタルアーカイブしておけば鑑賞に向いたものになる。その方が喜ぶ人がいそうだな」と思いました。

——確かに。

データ化したことで使い方が広がり、2017年から18年にはデジタル



NFT 付作品証明書

和紙などの材料、軸や巻物などの仕立てをテーマに、現在8ラインのレーベルとして展開されています。1枚のプリントにマンガへの思いや先生方へのリスペクト、また様々な技術への敬意などが詰まっていますよね。

それまでも原画の展示はありましたが、マンガの本文をプリントし、作品として飾るといってはあまりなかった。でもよくよく考えてみると、もともとマンガってモノクロの物語をメインにみんな読んでるんだよね…と気が付いたんです。たとえば『週刊少年ジャンプ』は今なお活版輪転印刷機で印刷されています。マンガの表現を考えたとき、活版印刷のばきつとした白黒の表現で印刷する…みたいなところをクローズアップしてみたらどうだろう。そこです。大判の活版平台印刷機を探すと、そこからスタートしたんですが、その時点で見つかったのがたまた1社。しかもその機械を扱える職人の方はもう引退されていたんです。急遽その方に戻ってきていただいたんですけど…。

——また技術が失われている…。

そう。なにしろいろんなものがなくなっていく途中で「じゃあマンガがほしいって何なの?」と考えたとき、^{あだ}間

文化として伝わるものになるはずだと思えました。マンガってB4の原稿用紙に描かれることが多いんですが、「B系列」は日本独自の規格らしく、調べてみると伝統的な和紙のサイズである美濃判からきていることがわかったんです。だから日本のマンガの原画サイズと浮世絵のサイズはほぼ一致します。ね、おもしろいでしょ? 単純な機能だけでなく、エピソードや歴史がつながるとよりおもしろい。だったら紙は美濃で漉いてもらおう。上質な紙を選ぼう。機械も「この機械でないと刷ることができない」というところにこそ価値があると思えました。

——作品を形作るもの一つひとつに意味があるんですね。

僕らがやっていることは集英社の出版物の中でもっとも部数が少なくもつとも高価ですが、もしかすると僕らと一緒にさせていたでくことで失われていきつつあるものが職人さんと機械含めて残る、そんなことになったらいいんじゃないかという気持ちもありました。その後でしたね、これをきつかけに京都の伝統工芸技術みたいな分野と

——それでお声がけいただいたと。

^{あいだ}間のところがちゃんとわかった方が
より文化として伝わるものになるはずだと
思いました。

マンガアートヘリテージのレーベル

- Last Gravure
- Real Color Collection (digital origin)
- Real Color Collection (physical origin)
- Regenesys
- The Millennium*
- The Press
- The Press (Tokyo)
- The Scroll*



※コロナタイプでの制作

コミックスの売上が紙を超えました。その頃の僕はデジタル事業部でフルデジタルの仕事をしていたんですが、実はその間にアナログだったあれこれがなくなっていくんです。その一つが最終チェック紙「青焼き」*でした。毎日数百枚単位で青焼きが作られ、それで確認作業をし、校了すると捨てる。「青焼きって記録しておくべきだったよな」と思ったときには日本で青焼きが作れるところはもうどこにもなく、もはや話の中にしかないんです。

——青焼きもまたマンガ文化の大切な一つだったんですね。

そう思います。そういうものがすごく多くて。原画と掲載誌の中間にあるところって青焼き同様、いろんなものがなくなっているんです。そうした背景の中で、マンガのデータ化をきっかけに新規事業として可能性があるかもしれないと思ったのがマンガのアートプリントの販売でした。当時はまだ「NFT」*という言葉を知りませんでした。ですが、マンガアートに証明書としてNFTを連携させることで文化的価値を高めていけるのでは、と思ったんです。

——マンガアートヘリテージでは、活版印刷やコロナタイプなどの印刷技法

便利堂のことはご存じでしたか?

知りませんでした。そして最初に人づてにご紹介いただいた時、便利堂の名前の響きから「近くて早い便利堂」みたいなキャッチフレーズがつい浮かんでしまつて、とても世界でここにしかない技術があるように思えなかったんです。コロナタイプの響きもなんだか「コロコロコミック」みたいだなあ(笑)。でもいざお話を伺ってみるとすごかった。なにより色がずっと残ることが科学的にはなく歴史的、時間的に実証されている唯一の印刷技術というのがすばらしい!と思いました。

——ありがとうございます!



新作「ONE PIECE / The Scroll 式」の打ち合わせをする岡本さんとコロナタイププリンターの尾崎さん

* NFT: ブロックチェーン技術を用いて唯一無二のデジタル資産の所有権を証明する「非代替性トークン (Non-Fungible Token)」のこと。改ざんが困難で取引履歴が明確に記録される

*青焼き: 製版フィルムを青写真感光紙に感光させ、青い線で図形や文字が写し出された校正紙や複写紙



—— 現在、アメリカで初めてのマンガ展が開催されているそうですね。

—— 来年の1月25日までサンフランシスコのデ・ヤング美術館にて「ART OF MANGA」が開催されています。マンガの大規模な展示では2019年に大英博物館で開催されましたが、今回の展示はアメリカ大陸初、美術館というくくりでも世界で初めてのマンガ展となります。展示会場の最後のゾーンが集英社マンガアートヘリテージのスペースなんですけど、もちろんコロタイプ作品も展示されています。

—— そして11月には京都で行われるアートフェア「Art Collaboration Kyoto



【The Millennium】
久保 帯人
BLEACH / 黒衣少年図
2022, 925mm x 580mm, editions 20



—— コロタイプ工房もご覧いただきました。いかがでしたか。

—— 便利堂さんには若い職人の方がたくさんいらつしゃるんですね。版を作る場所にも印刷でもそれぞれの場所でベテランの方と若い方が一緒にお仕事されているじゃないですか。あれ、

—— コロタイプ工房もご覧いただきました。いかがでしたか。

—— 便利堂さんには若い職人の方がたくさんいらつしゃるんですね。版を作る場所にも印刷でもそれぞれの場所でベテランの方と若い方が一緒にお仕事されているじゃないですか。あれ、

とですね。

—— 便利堂さんの工房もそうですが、越前和紙の岩野平三郎さんや、表具の立入好和堂さん、印刷などものづくりの現場はどこも本当に素晴らしい。麻布台ヒルズにあるギャラリーではマンガアートに携わる様々な現場の映像を流していますが、みなさん足を止めてそれをずっと眺めてくれています。伝統工芸や伝統的な技術というだけでなく、それがマンガと組み合わせることで価値がよりわかりやすく人へ伝わるものになっているならすごくいいなあと思っています。



【The Scroll】
尾田 栄一郎
ONE PIECE / The Scroll 弐
2025, 1610mm x 440mm editions 55 NEW RELEASE

MANGA ART KYOTO

- Art Collaboration Kyoto 2025
2025年11月14日(金) - 16日(日)
国立京都国際会館
- 荒木飛呂彦「ジョジョの奇妙な冒険」展
2025年11月14日(金) - 16日(日)
東本願寺 白書院
- 尾田栄一郎「ONE PIECE / The Scroll 弐」展
2025年11月14日(金) - 12月13日(土)
便利堂コロタイプギャラリー
ほか、京都アンブリチュード、大丸京都店の2会場でも開催



できないですよ、なかなか。それを見ているといかにベテランの方がすごいのかがよくわかる。僕は映像も撮らせていただいたので見てみると、版にゼラチンを引くスピードもだいたい3倍速でしたもん。(笑)

—— さて現在、便利堂のコロタイプで制作させていただいているレーベルが、『The Millennium』と『The Scroll』ですが、その最初が『BLEACH / The Millennium』シリーズでした。

2022年、便利堂さんをお願いするタイミングで『BLEACH』の「千年血戦篇」アニメ放送開始日が発表されました。「千年か…」と考えると、便利堂さんには「千年先に作品を遺すことを目的に作りましょう」とお声がけさせていただきました。作品《月牙領身図》は、作者の久保先生も思い入れのある絵なんだそうです。絵だけれど文字のようでもあり、こう止めて、払って、勢いよく描いた、見方によっては書のようにもある。素晴らしいと思います。先生は黒をできるだけ黒く表現したいということで、濃い目に線画をコピーしたあと、さらに色を塗り重ねるようにしてできるだけ真っ黒になるようにして入稿されていました。その原画を撮影してプリンターの尾崎さんに見ていただいた結果、黒を表現する

2025」(ACK)でもマンガアートを出展されます。これに合わせて、サテライト会場として、東本願寺と便利堂コロタイプギャラリーなど4会場での展示が行われますが、まず、なぜお寺を選ばれたのですか？

—— 去年のACKを見ていたらお寺での展示がとても面白かったです。すごいなと思ったのが光の入り方でした。障子を通した、変化していく外からの光。そんな中で作品を見られたらどこで見ても同じ作品ではなくなる。お寺にあるからこそその価値、体験になるんじゃないかなと思いました。うつろう光の中へ置かれると作品はきつと違う見え方をするはずですよ。

—— 今から楽しみです。コロタイプギャラリーでは、『ONE PIECE』のコロタイプ作品シリーズが展示されますが、これに合わせて初公開される新作があるとお聞きしています。

—— 手漉きの越前和紙に刷る『ONE PIECE / The Scroll 弐』と『ONE PIECE / Covers』10作品を初公開します。映像のインスタレーションも合わせて、マンガアートが実際に作られる場所での展示を楽しんでご覧いただきたいです。

今回の展示でさらに多くの方へ

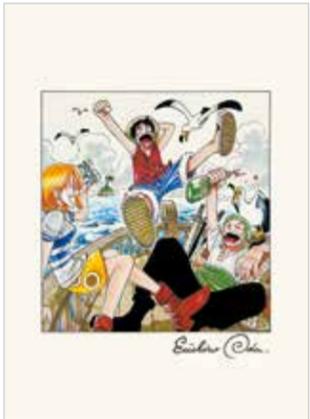
ためにコロタイプ史上もつとも版を使うことになったそうです。

—— マットな黒インキとアクリル黒絵の具を調合した1色の上に、青味のある黒を刷り重ねたと聞いています。その話を久保先生にしたら「僕の描いているのと近い順番での塗り重ねになっていておもしろい」とおっしゃっていました。それをうかがってうれしくなりました。

—— きっと尾崎は作品から久保先生の思いを汲み取ったんでしょうね。

—— マンガアートヘリテージの取り組みって、ありがたいことに尾崎さんをはじめ一緒に作っていただいている人が「ジョブ」としての仕事じゃなく、それ以上の思いを入れていただいているんです。尾崎さんは今回、『BLEACH』『ONE PIECE』いずれも全巻読み直したうえでプリントしていただいたと聞きました。ものづくりをする人の方が作家の気持ちを感じたり、わかるところがめっちゃくちゃある気がしていて、そこが重なっていくとよりおもしろいもの、普遍的なものになる気がしています。

—— 一つの作品にこれだけいくつもの思いが込められているってすごいこ



マンガアートの魅力が届きそうです。

—— マンガが他の美術作品と一番大きく違うのは、ストーリーがあることだと思います。マンガの物語と、マンガを読んだ時の自分の記憶とがクロスして特別な体験になるような…。一方で、ストーリーを知らない人に「すごい絵だから」とご購入いただくこともあって、それは僕らにとつてはとっても新鮮なことでした。ギャラリーでプリント作品を見て、コミックスを見ているだけでは見過ごされがちなすごさに気付くのは、この大きいサイズだからこそ。そして何よりもやっぱり絵そのものにすごく力があるからなんですよね。だからこそ、プリントも仕立てもフルスペックで一切妥協せず、最良のものを選んでかつてないアートにする。マンガを「未来へ遺す」には本気のチャレンジを続けることが必要なのだと思います。

※過去にメルマガで配信したインタビューのバックナンバーはこちら



尾田 栄一郎 ONE PIECE / Covers
2025, 364mm x 257mm, 10 作品, edition100 NEW RELEASE

七五三

「手紙なんてちょっととおおげさかな。」でも、感謝やお礼、ともに喜び合うお祝いの気持ちなど、ときには手書きではがきやメッセージカードにちよつと季節の言葉を添えて送ってみてはいかがでしょう。折々の季節のごあいさつをご紹介します。

懐かしい七五三の記憶

七五三。数字が三つ並んだその字面の面白さと、「しちごさん」という軽快な響きに、子ども心にワクワクしていたことを思い出します。とはいえ、千歳飴はもうとうときは嬉しけれど、自分の背丈の半分ほどもある袋を持ち歩くのは大変で、ずるずると引きずり歩いたこと。写真館で色んなポーズを求められ困惑したこと。慣れない着物の裾を踏んで転げそうになったこと。そんな思い出が、今でもふわりと残っています。

七五三の由来と願い
七五三は3歳、5歳、7歳の成長

を祝う行事です。かつては、男児・女児が髪を伸ばし始める「髪置の儀」、男児が初めて袴をはく「袴着の儀」、女児が付け紐を解き帯を締める「帯解の儀」として営まれていました。子どもの死亡率が高く、無事に育つこと自体が奇跡のようだった江戸の時代。身体が弱かった江戸幕府第5代将軍徳川綱吉の長男・徳松の健康を祈願して、11月15日に袴着の儀を行ったところ無事に育つことが由來とされています。昔ほど、「健康祈願」としての意味は薄れてはいるものの、今なお子どもの成長への祈りが込められる日であることに、ひとつも変わりはありません。

親から子どもへの感謝の気持ち
思えば、子から親へ、日頃の感謝を伝える節目は多いけれど、親から子へ「ありがとう」と言葉にする機会は、意外と少ない気がしませんか。一歩ずつ大人へと近づいていく子どもへ、その時々の方々の表情や仕草に、親が抱いた気持ちを文字にして残す。七五三をそんな機会にしてみても深まる11月15日。芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋——好きなことを思い切り楽しんで大きくなってね。千歳飴のように柔らかく、ほんのり甘く、長く心に残る贈り物になるはず。

Season Greetings vol.22



【カードの文例】
〈光琳画譜より仔犬〉中村芳中

七五三にも最適

堀内誠一シリーズのグリーティングカードで子どもたちへのメッセージはいかがでしょうか

〈ぐるんぱのようちえん〉水浴び ¥330

〈たろうのおでかけ〉たろうと動物達 4枚入 ¥385

琳派—継承の美

毎月ふみの日に届く「美術はがき」のある暮らし

美術はがきソムリエからの定期便 第3弾

半年間6回お届けのミニシリーズ!



美術はがきソムリエ 増尾麻黄

11月 11月15日までのご注文 (11月23日頃にお届け)

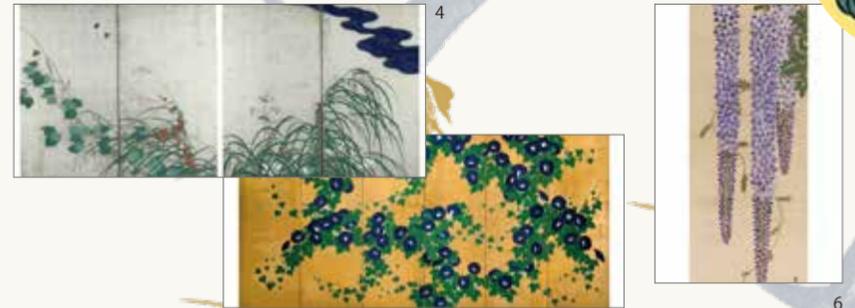
〈受け継がれる意匠 ~草花図—変奏の系譜~〉



1 NEW 〈四季草花図〉伊年印 2 NEW 〈簾に秋草図〉渡辺始興
3 〈十二月草花図 蕙に嫁菜〉神坂雪佳 ほかに5作品

12月 12月15日までのご注文 (12月23日頃にお届け)

〈江戸琳派 ~酒井抱一と鈴木其一~〉



4 〈重要文化財 夏秋草図〉酒井抱一
5 NEW 〈朝顔図(右隻)〉鈴木其一
6 NEW 〈藤花図〉鈴木其一 ほかに5作品

美術はがきソムリエ 安野美奈子



美術はがきソムリエの私たちが自信を持って選びました!

●今後のラインナップ

- 1月 〈受け継がれる意匠 ~金と色彩~〉
- 2月 〈琳派の源流 ~本阿弥光悦と俵屋宗達~〉
- 3月 〈琳派の水墨 ~墨と筆の表現~〉
- 4月 〈花ひらく琳派 ~尾形光琳と乾山~〉

※定期便第1弾とはすべて異なる商品を収録しています。
※内容は予告なく変更になる場合があります。

増…琳派の名作をご紹介します定期便第3弾、冬にお届けする名作は…?

安…11月は《受け継がれる意匠—草花図—変奏の系譜—》。草花図を得意とした作家たちが先人の技法を踏襲しながら独自の構成や筆遣いを探求したその系譜を辿ります。
増…どれも身近な草花をモチーフにしつつ、さまざまな視点から季節を演出していますね。
安…この慎ましき琳派の魅力をひたひたです。
増…続いて12月のテーマは《江戸琳派—酒井抱一と鈴木其一—》。京で花開いた琳派を江戸の地で受け継ぎ、その流れを広めていった中心人物、酒井抱一とその最初の弟子、鈴木其一の名作を集めました。
安…其一の代表作、メトロポリタン美術館所蔵の《朝顔図》がいよいよ長型はがきに!
増…金屏風に群青の花びらと深緑の葉。鮮烈で清々しいですね。
安…この号は長型はがきが豊富で使い勝手を考えてとワクワクします。

シリーズ、第1弾・第2弾も好評発売中です!
増…美しさとその成り立ちに触れる定期便



美術はがきソムリエからの定期便

琳派—継承の美

定期便シリーズはこちらから!

- 毎月〈ふみの日〉に絵はがき8枚を6ヶ月間お届けします。
- 月々わずか1,000円(税・送料込)
■半年間6,000円:月々1,000円(税・送料込)×6ヶ月*
- 今回も特典が盛り沢山!
①毎回、琳派の世界をやさしく解説した〈特製ブックレット〉付き
②全6回一括払いでのお申し込みの方にオリジナル文香(非売品)をプレゼント(先着100名様)



- ③さらにもれなく2大プレゼント
◆初回お届け月にオリジナル〈琳派年表・用語集〉
◆最終お届け月に、「抗ウィルス」「抗菌」「消臭」機能がある〈琳派柄PHONE STICKER〉(定価385円)をプレゼント

※途中解約はいつでも可能です。月々払いはクレジットのみとなります。
くわしくは専用サイトをご確認ください。

【特集】新商品の季節のおすすめ 10月1日(水)発売

便利堂の年賀はがき

ただいま早期割引受付中!

早期割引

10月1日～11月30日までは定価より
10枚セット ↓ 15% OFF

※12月1日以降は定価販売のみとなります。

■定価 1枚：110円
10枚セット：990円



ご予約・ご購入はこちら



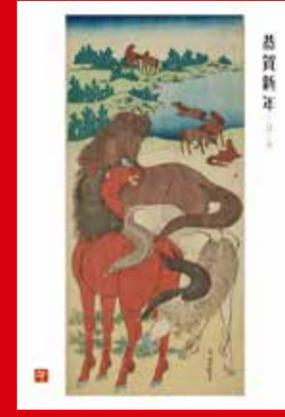
タテ 15.0 cm
ヨコ 10.5 cm

- 5 《おもちゃ千種 第8集から でんでん太鼓、大宰府の羽子板、おしゃぶり》川崎巨泉
- 6 《福助》
- 7 《布袋の書初め》
- 8 《梅と青海波》
- 9 《富士と松》

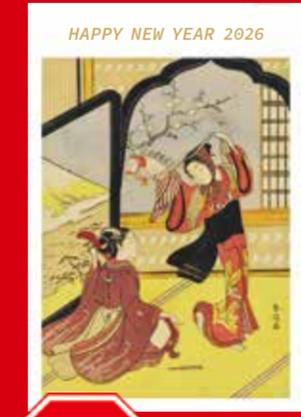
タテ 8.9、12.13 cm
ヨコ 9.0 cm

復刻
年賀はがき

NEW



NEW



美術
干支年賀

タテ 14.8 cm
ヨコ 10.0 cm

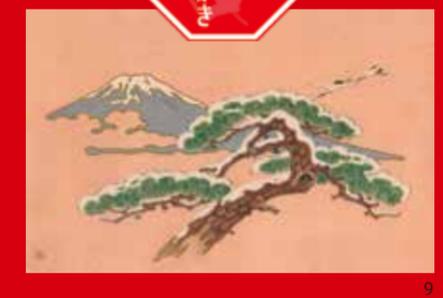
- 1 《牧馬》葛飾北斎 東京国立博物館
- 2 《春駒を舞う二美人》鈴木春信 東京国立博物館
- 3 《『図案百種』より 鶴に松竹梅》国会図書館 NDL コレクション
- 4 《『川瀬巴水版画集』より 山中湖の暁》川瀬巴水 国会図書館 NDL コレクション

NEW



美術
年賀はがき

NEW



復刻
年賀はがき

12 《太陽と松》
13 《鶴》

美術
年賀はがき



9 《書き初め》三代長谷川貞信 関西大学図書館
10 《正月の床の間》深斎英泉 千葉市美術館
11 《明治四十五年勅題松上鶴》池田蕉園

■ 385円



染型撰
年賀はがき

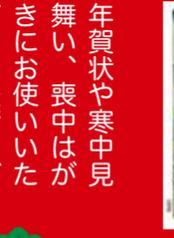
■染型撰 1枚：93円
10枚セット：825円

干支に限らずお使いいただける美術年賀はがきや復刻年賀はがきあり。

14 《桐に鳳凰》
15 《胡麻に松竹梅》
16 《松竹梅》
17 《宝珠に熨斗》



年賀状や寒中見舞い、喪中はがきにお使いいただける美術はがきあり。



■ 1枚：110円
長はがきは 170円



金沢文庫本

萬葉集巻第十二第三

ガラス彩版(多色刷)コロタイプ(原寸大複製)

限定一五〇部

NEW 2025年11月10日発売



監修・編集委員：田中大士（編集主幹、日本女子大学教授、前上代文学会代表理事）
乾 善彦（関西大学教授、前萬葉学会代表）
新沢典子（慶應義塾大学教授）

万葉集とは、奈良時代末期に成立したとされる現存するわが国最古の歌集です。全20巻からなり、約4500首の歌が収められています。

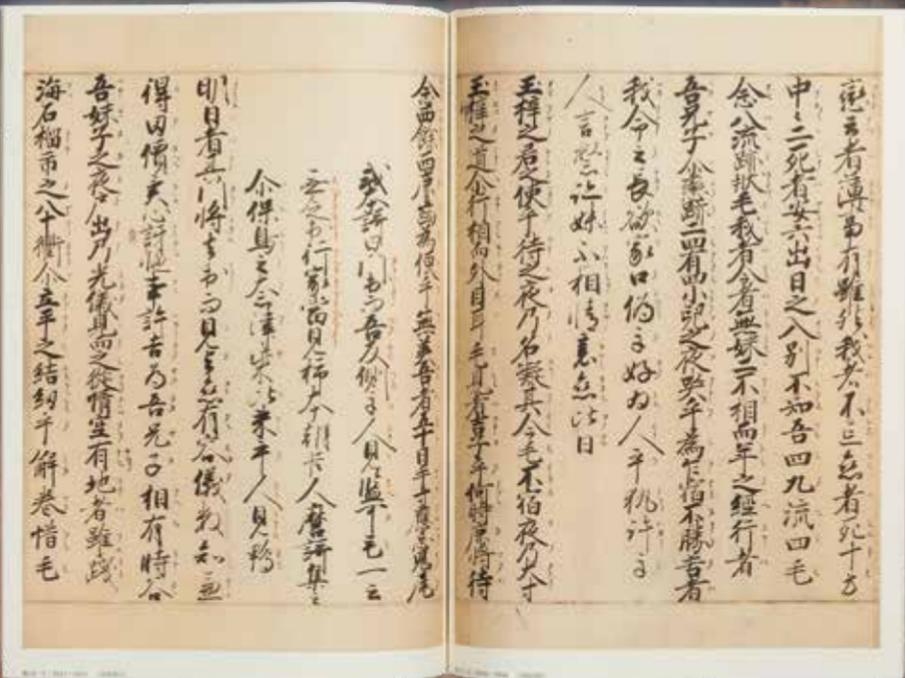
古典の多くがそうであるように、万葉集もいつしか原本は失われてしまい、平安時代より繰り返し返されてきた書写によってその内容が伝えられてきました。

しかし、手で写される写本は写し誤りが起こります。鎌倉時代にこの諸写本を校訂し、本来の姿に復元しようとしたのが仙覚（1203〜1273）でした。仙覚は、寛元5年（1247）に最初の校訂本（寛元本）を完成させましたが、それに満足せず、さらに約20年後の文永2年（1265）に新たな方針の元、第2次校訂本（文永本）を完成させました。

現在、その仙覚が作った寛元本も文永本も原本は遺っていませんが、それらの書写本は数多く遺り、これによって我々は『万葉集』を欠けることなく完全な形で知ることができま

す。『金沢文庫本万葉集』は、この文永本系に属する写本の一つですが、数巻しか遺っていない残欠本であることから、従来はあまり注目されない伝本でした。しかしながら、最新の研究で金沢文庫本には文永本の中でもより古い形態を留めていることがわかってきました。これにより、今まで明らかになっていなかった寛元本から文永本に至る移行過程を説明することができ重要な資料として注目を集めています。

このたび便利堂では、これからの万葉集研究に資するため、『金沢文庫本万葉集巻十二巻十三 玻璃彩版原寸大複製』を刊行することといたしました。本複製は、現在遺っている金沢文庫本のうち、真正極楽寺 真如堂に伝わる巻12全巻を複製するとともに、諸家に分蔵される巻12と巻13の断簡を合わせて収録し、1冊とするものです。



複製本文
●書形 / 縦 34.5 × 横 25.5cm ●装丁 / 和本袋綴装
●本文 / 11丁、コロタイプ5色刷 ●解説 / A5判、並製本
●外装 : 化粧箱入り
ISBN : 978-4-89273-115-0

■有識者からの推薦文 (敬称略)

知の営みを誘う

渡部泰明 (東京大学名誉教授・国文学研究資料館館長)

このたび、京都真如堂に所蔵される金沢文庫本『万葉集』の複製が、精細なコロタイプ印刷によって出版されることになった。しかも斯界の大家、田中大士氏が監修され、解説を付されるという。まことに最適な人材による、我々にとって僥倖というべき出版である。氏には、すでに「金沢文庫本万葉集系統論序説」(『萬葉』第百三十一号、二〇二一・三)なる論文がある。この論考は、金沢文庫本を改めて位置づけなおし、その価値を再発見したといっても過言ではない。一千年を越える昔から、『万葉集』はその時代その時代の要請に促されて、相貌を改めながら再生してきた。作品自体はもちろん、その再生の軌跡さえも、後の人々の知の営みを喚起し続けた。金沢文庫本の細やかで信頼度の高い書写から匂い立つもの。一字一言の背後にある、いまだ知られざる知性や感性のあり方が、我々の探究心を誘ってやまない。

複製本の価値

鉄野昌弘 (東京大学名誉教授・萬葉学会代表)

大学院生時代、西本願寺本『萬葉集』の複製をつくる手伝いをしたことがある。カラー版の高価な複製は既に刊行されていたが、白黒の影印に翻刻を付けた廉価版をつくるのだった。しかし訓や声点の色をどう書き分けたものか。会議でも紛糾し、ともあれ原本を見なければ、という話になり、二回見せてもらった。無論、自分で触ることは許されず、次の帖に移る際には、館員にめくってもらった。それでも、ガラスを隔てずに原本を見る得難い機会だったと思う。

今は、デジタル技術が進み、画像によって拡大し、肉眼で見ると詳細に見ることも出来る。しかしそのために原本を拝むことはかえって難しくもなった。本物の持つ気品や質感は、画像では伝わらない。精巧な複製は、そうした言語化の難しい情報をも伝える独自の価値を持つ。

諸本研究は、『萬葉集』研究の中でも近年、最も進展した分野である。この金沢文庫本『萬葉集』複製の監修者たちは、それを牽引して来た。本複製は、その研究をますます前進させるに相違ない。

共有財産

大浦誠士 (専修大学教授・上代文学会代表理事)

大学院の演習などで万葉歌の講読を行うとき、自分たちは何を読んでいるのかを常に意識するように促している。ややもすると既成の万葉集テキストの読解に陥りがちだからである。奈良時代に成立した万葉集はもろろん残っていない。それを私たちに伝えてくれるのは写本・版本などの諸本である。演習においては『校本万葉集』も活用はするが、様々な複製や影印で実際の文字に触れる時の学生達の目の輝きは格別である。

『校本万葉集』の刊行から一〇〇年を迎えた。諸本研究はあらゆる万葉集研究の土台となる研究である。それを推し進めてきた碩学の方々による金沢文庫本『万葉集』の複製、しかも高度な技術による複製は、全ての研究者の共有財産であり、新たな諸本研究への扉となるに違いない。

息づかいを感じる複製本が…

上野 誠 (奈良大学名誉教授・國學院大學教授(特別専任))

不勉強な私は、諸本間に文字の異同がある場合、『校本万葉集』を見て、「ふむむむ」というところで終わってしまう。そんな私でも、展観で諸本が出る と聞けば、必ず行くことにしている。筆写とはいっても、筆写された時代の学問知があり、美意識があるのであって、その伝本全体の様子を少しでも知りたいと思うからである。以上の意味において、今回の複製本の製作は慶賀に堪えない。なぜならば、心ゆくまで手に取って、その筆遣いまでも学ぶことができるからである。

この二十一年で、デジタル公開も進み、諸本の比較が容易になったことよって、『万葉集』の伝本研究は大きく進展した。編集は、畏敬してやまない練達の師たち、書肆もまた老舗とあって、またよし。新見を含む解説を手引きとして、その息づかいをいち早く感じたい、と思う。

- ① 『こどもびじゅつえほん』全4種 ¥1,100
- ② 『英国王室秘蔵の名品でたどる一海を渡った日本と皇室の文化』 ¥9,350
- ③ 『国宝事典(第4版)』 ¥9,350
- ④ 魯山人 GONOMI 〈注染手ぬぐい〉全3種 ¥2,420
- ⑤ 同〈大判ふぎんとお手拭きのギフトBOX〉全5種 各 ¥2,310
- ⑥ 同〈お台拭きと野菜ふくるLのギフトBOX〉全5種 ¥2,750
- ⑦ 同〈お台拭き2枚のギフトBOX〉全5種 各 ¥2,420
- ⑧ 同〈お台拭き3枚のギフトBOX〉全5種 各 ¥3,410



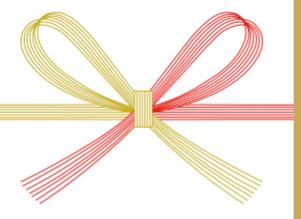
贈り物に悩むこの季節
子どもから大人まで、
美術好きさんをちょっと唸らせる
便利堂の美術商品はいかがでしょう。



新年の挨拶回りや、おもてなしの席で配る『お年賀』。
お相手に気を遣わせない程度のごくささやかな心配りの一品ですが「今年もよろしくお願ひします」の気持ちに
加えるのも素敵です。



【特集】新商品 & 季節のおすすめ商品④
年始のご挨拶に



お年賀のオススメ商品



NEW



- ① 懐紙〈鳥獸戯画〉全2種 ¥550
- ② 色紙〈大黒天図〉尾形光琳 ¥1,650
- ③ 色紙〈宝舟図〉富岡鉄斎 ¥2,200
- ④ 色紙〈富士図〉酒井抱一 ¥3,850
- ⑤ 手ぬぐい 2柄〈鳥獸戯画〉各 ¥1,320
- ⑥ 絵はがきカレンダー 2026〈琳派の花々〉 ¥1,100
- ⑦ オーガニックコットン小風呂敷 50cm〈鳥獸戯画〉全2色 各 ¥1,100
- ⑧ オーガニックコットン風呂敷 70cm〈鳥獸戯画〉全2色 各 ¥1,870

12月1日から26年1月15日まで

便利堂本店と便利堂オンラインショップでは「お年賀製作」のラッピングサービスを行っております。

は京都

全20はん 各一三二〇円

京都便利堂が京都在住のアーティスト、ツペラツペラとコラボレーションした新しいカードシリーズ。「京都のさまざまなもの」をモチーフにツペラツペラが描き下ろしたイラストを便利堂独自のカラーコトタイプ技術でプリントした「贈っても、使っても、飾っても」楽しい京都みやげの新定番です。「京都はん」の「はん」は「版画」と京ことばの敬称「はん」を掛けています。

京都便利堂 × tuperatuperatupa

tuperatuperatupa
亀山達矢さんと中川敦子さんによるユニット。絵本やイラストレーションをはじめ、TVや舞台、空間のアートディレクションなど、様々な分野で幅広く活動している。絵本『しろくまのパンツ』『パンダ銭湯』など著書多数。NHK Eテレ「ノゾーのひらめき工房」のアートディレクションも担当。

photo: Shingo Mitsuno

「贈っても、使っても、飾っても」楽しい京都みやげの新定番



便利堂本店では全種 公式オンラインでは「舞妓はん」「京都タワーはん」の2種が購入いただけます。

市内20か所のサテライトショップで各1種の「京都はん」を販売中
「京都はん」まち歩きMAPで京都めぐりをしよう！

さまざまなお顔を持つ「京都はん」は全20種類。市内20店舗のサテライトショップにて各1種類の「京都はん」を販売しています。全種を集める京都めぐりもよし、お気に入りのお顔を求めて訪ねてもよし。各店であなたとの出会いをお待ちしています。サテライトショップ情報を掲載した専用スマホ地図「京都はんまち歩きMAP」をご用意しています。



美術はがきソムリエの私たちが自信を持って選びました！

現在3コースをご用意。お好みをお選びください！



増尾麻黄(ますお・あさぎ)
京都便利堂直営ショップスーパーバイザー。絵はがきを通して堅苦しいイメージがある美術品や美術の世界を身近に感じてもらえると思います。

「美術はがき定期便」は、私たちが毎月テーマを決めて、それにピッタリな絵はがきを選んで、お得なセット価格で皆さまにお届けする趣向です。

絵はがきを使う派、コレクション派、飾る派はもちろん、美術には興味があるけど詳しくない、という方にも、ちょっとした「学び直し」の機会になればいいと思います。

税込、送料込。
いつでも解約できます！



安野美奈子(やすの・みなこ)
京都便利堂本店店長。ご来店の際は、店頭にはない絵はがきもご提案させていただきます。お気軽にご相談ください。

便利堂の絵はがきは千種を超えますから、自分で選ばないような、思いがけないものが届く楽しみもありますね。

お届けした絵はがきをきっかけに「今度は本物を見に行こう」と旅が始まるかもしれない。この定期便がそんな出会いの機会になれば素敵です。

※定期便各コースはすべて異なる商品を収録しています。
※内容は予告なく変更になる場合があります。

●毎月のお届け内容：コロタイプ絵はがき(季節五題)を含む絵はがき10枚+特製ブックレット



●特典が盛りだくさん

もれなく、11月に「わたしだけの絵はがきカレンダー2026」(定価300円)、最終お届け月に、絵はがき全120枚が収納できる「定期便特製コレクションボックス」をプレゼント

さらに一括払いでのお申し込みの方に「ワイヤー絵はがき立て」(629円)をプレゼント(先着100名様)

通常合計価格 1,675円 / 20,100円のところ

都度払い **1,200円** / 一括払い **14,400円**

■1年間14,400円：月々1,200円(税・送料込) × 12ヶ月

毎月1回
全12回
1年コース

●ラインナップ

- 1月 <よき塩梅> 9月 <秋の夜長に>
- 2月 <桜梅桃李> 10月 <はらべこ美術めぐり>
- 3月 <春のうたげ> 11月 <烏兔匆匆>
- 4月 <清明> 12月 <はなむけの一葉>
- 5月 <青時雨>
- 6月 <うつうつそう>
- 7月 <清々しい「青」>
- 8月 <夏バテを吹き飛ばす！>

毎月23日
毎月ふみの日に届く
「美術はがき」のある暮らし
美術はがきソムリエからの
定期便

※途中解約はいつでも可能です。
月々の都度払いはクレジットのみとなります。
くわしくは専用サイトをご確認ください。



●毎月のお届け内容：長型はがき(6回計14枚)を含む絵はがき8枚+特製ブックレット



●特典が盛りだくさん

もれなく、初回お届け月にオリジナル「琳派年表・用語集」、最終お届け月に、「抗ウイルス」「抗菌」「消臭」機能がある「琳派柄 PHONE STICHER」(定価385円)をプレゼント

さらに一括払いでのお申し込みの方にオリジナル文香(非売品)をプレゼント(先着100名様)

通常合計価格(平均)1,273円 / 7,640円のところ

都度払い **1,000円** / 一括払い **6,000円**

■半年間6,000円：月々1,000円(税・送料込) × 6ヶ月

●ラインナップ

- 1/7月 <受け継がれる意匠～金と色彩～>
- 2/8月 <琳派の源流～本阿弥光悦と俵屋宗達～>
- 3/9月 <琳派の水墨～墨と筆の表現～>
- 4/10月 <花ひらく琳派～尾形光琳と乾山～>
- 5/11月 <受け継がれる意匠～草花図一変奏の系譜～>
- 6/12月 <江戸琳派～酒井抱一と鈴木其一～>

毎月1回
全6回
半年コース

浮世絵だけの深掘り半年プラン
浮世絵の美

毎月1回
全6回
半年コース

●毎月のお届け内容：絵はがき8枚+特製ブックレット



●特典が盛りだくさん

もれなく、初回お届け月にオリジナル「浮世絵年表・用語集」、最終お届け月に、絵はがきが収納にピッタリ「浮世絵A5変形クリアファイル」(定価385円)をプレゼント

さらに一括払いでのお申し込みの方に「プッシュピン式絵はがき立て」をプレゼント(先着100名様)

通常合計価格 1,180円 / 7,080円のところ

都度払い **1,000円** / 一括払い **6,000円**

■半年間6,000円：月々1,000円(税・送料込) × 6ヶ月

●ラインナップ

- 1/7月 <美人画クロニクル～春信、歌麿から英泉へ～>
- 2/8月 <北斎と広重～200年前の日本の風景～>
- 3/9月 <掌の芸術～摺物と版本の魅力～>
- 4/10月 <幕末から明治へ～国芳・暁斎・芳年と新版画～>
- 5/11月 <ゆるかわ動物とおもちゃ絵の世界～>
- 6/12月 <歌麿と写楽～仕掛け人・葛屋重三郎～>



Information

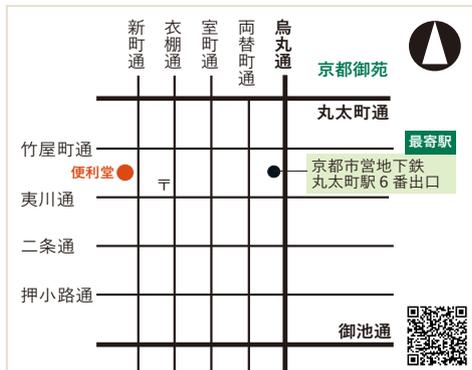
京都便利堂本店

年末は 12/27 まで、年始は 1/ 5 より営業いたします。

便利堂本社 1F には、美術商品を取り揃えた京都便利堂本店を開設しております。ぜひ京都にお越しの際はお立ち寄りください。

【営業時間】 10:00 ~ 19:00
【定休日】 日・祝日 ※11/23・24 は臨時営業
【Telephone】 075-231-4351 (代表)

Instagram@kyoto.benrido
twitter@kyotobenrido
facebook@kyotobenrido.shop



【アクセス】

〒604-0093
京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町 302 番地

〈公共交通機関でお越しの方〉

- ・市営地下鉄烏丸線「丸太町」下車 ◎番出口より徒歩7分
- ・市バス 「文化庁前・府庁前」下車徒歩5分

〈お車・タクシーでお越しの方〉

- ・京都駅から15分、お客様駐車場あります。
- ・タクシードライバーに「新町通り夷川(えびすがわ)上がる」とお伝えください。

コロタイプギャラリー

便利堂コロタイプギャラリー秋季企画展示

集英社マンガアートヘリテージ《尾田栄一郎「ONE PIECE / The Scroll 弐」展

尾田栄一郎「ONE PIECE / The Scroll 弐」©Eiichiro Oda / Shueisha Inc.



京都便利堂本店がある便利堂本社には、年間を通じてさまざまなコロタイプ作品を展示する〈コロタイプギャラリー〉が併設されています。11月14日からは、集英社マンガアートヘリテージでリリースされた初公開の新作を含む『ONE PIECE』コロタイプ作品を一堂に展覧します。

会期：2025年11月14日(金)～12月13日(土)
開廊：10:00～12:00/13:00～17:00
(11月14日は19:00まで)
休廊：日(11月16日・23日は開廊)
入場：無料(完全日時指定制) 主催：集英社